

がん検診を受けましょう

日本人の死因第1位はがんです。

高知県においても同じく死因の第1位であり、1年間になくなる方の4人に1人はがんでなくなっています。早期のがんは自覚症状がなく、気付いたときには進行していたというケースが多いです。

コロナ禍でがん検診の「受診控え」が増えていると言われていますが、受診控えは、がんの早期発見の機会を逃すことにつながります。がん検診の対象者になる人は、定期的にごがん検診を受けましょう。

「検診」と「診療」の違い

「がん検診」は症状のない健康な人が対象です。

「がん検診」では「早期がん」、つまり症状が出る前のがんを発見し、治療することが重要です。そのため、対象者は特に自覚症状のない、がんのある可能性がごく低い一般の方となります。がん検診とは、このようにがんのリスクの低いたくさんの健康な人々のなかから、がんの疑いのある人をふるいにか

けて、分けるための検査です。

これに対し、自覚症状があり、がんの可能性がある人が病院で受ける検査は「診療」に含まれます。

がん検診の受け方

40歳以上の男性、20歳以上の女性、職場や市町村が実施するがん検診を受けることができます。

がんは早期発見・早期治療で90%以上が治ります。がん検診は元気な時に定期的に受けないといけません。

黒潮町では、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん

表1 黒潮町で実施している各種がん検診

がん検診名	対象者	料金
肺がん (肺がん・結核)	40歳～64歳	100円
	65歳以上	無料
胃がん (バリウム)	40歳～69歳	900円
	70歳以上	無料
内視鏡※	50歳以上 ※2年に1回偶数歳の方	3,000円
大腸がん	40歳～69歳	500円
	70歳以上	無料
子宮がん※ (子宮頸がん)	20歳～68歳の女性	600円
	70歳以上の女性	無料
乳がん※ (マンモグラフィ)	40歳～68歳の女性	600円
	70歳以上の女性	無料

※胃がん(内視鏡)、子宮がん、乳がん検診においては令和5年度中に偶数歳になる方

ん検診、乳がん検診を実施しています(表1参照)。

※がん検診を行う会場や医療機関では感染防止対策をとっていますので、安心して受診してください。

がん検診の申し込み方法

広報2月号と一緒に令和5年度「がん検診」申込用チラシを配布します。内容を確認のうえ左記①から④のいずれかの方法で申し込みをしてください。

- ① 令和5年度がん検診申込用ハガキに記入し、郵便ポストに投函
 - ② がん検診申込用チラシに記載しているQRコードから申し込む
 - ③ 役場担当係へ電話で申し込む
 - ④ 役場で直接申し込む
- ◇ 申込締切
3月31日(金)

※実施日時は、広報の健康カレンダーなどでご確認ください。

定期的にごがん検診を受診することが大切です

がん検診を受けて「異常あり」と判断された場合には、必ず精密検査や、診断・治療を受けることが必要です。

また、がん検診を受けて「異常なし」となった場合でも、次回の検診を受診することが重要です。

なぜなら今回「異常なし」であっても、将来にわたってがんの危険がないということではないからです。むしろ、がんのリスクはがん検診で「異常なし」となった後、次の検診の間隔があげばあくほど高くなっていきます。いつできるかわからないがんをタイムリーに見するためには定期的に検診を受けることが大切です。

また、どんな検査でも100%がんを発見できるわけではありません。前回の検診で「異常なし」だったとしてもその後、気になる症状があらわれた場合には、次の検診を待たず、ただちに医療機関を受診することも重要です。

○お問い合わせ

本庁健康福祉課 保健衛生係

☎ 4312836

佐賀支所地域住民課 保健センター

☎ 5517373

